

令和7年度 出張市長室(市民と市長と気楽にトーク下半期・定例開催)

いただいた主なご意見をご紹介します。

項目	内容
施設・道路等の維持管理	国道188号柳井・平生バイパスの進捗状況は？また、完成予定は？
	土穂石川の河川改修の進捗は？
	石井ダムの管理道の木を切ってほしい。以前は年2回だったが、今は年1回になっており、車も通れないような状況もある。
	道路の区画線が薄くなっている。計画的に取り組んでいると思うが、通学路などは早急に取り組んだ方がよい。
	平郡漁港に救急対応船の浮桟橋を整備する計画の進捗状況を教えていただきたい。
防災・防犯	伊陸地区で自主防災組織を作るためにはそれぞれの核となる人が必要。こういった組織は地域共助の基本になると思う。
	近年は田舎でも犯罪が発生しており、社会インフラの観点から防犯カメラは必要だと思う。柳井市ではどのあたりに設置しているのか。
医療・福祉関係	周東総合病院の産科がなくなるというが大丈夫か。
	周東総合病院について、12月から導入した時間外選定医療費は、周東総合病院の負担軽減が目的であると思うが、これは周東総合病院だけがやっている取組なのか。
	現在、市内に外科を専門とした医院が少ない。
	前立腺がんの検査について、岩国市には助成があるが、柳井市はどうなっているのか。
交通対策	高齢者おでかけサポート事業の助成額は最大12,000円(令和7年度住民税課税世帯)だが、余田地区は(駅や中心部から)遠いので差をつけることはできないか。
	JRも広島駅への直通があると、柳井市に住みながら通勤する人が増えるのではないか。
	地区内移動に対する検討が必要と思う。例えば、阿月神明祭へ行きたい阿月地区住民の交通手段の確保をどうするか。

項目	内容
人口減少	地域の高齢化が進み、あらゆることが自助や共助では困難な状況になりつつある。このままでは近い将来、公助がなければ、平郡航路の代理店の運営も厳しくなるように思うが、考えを聞きたい。
	地域活性化に向けたコンサル派遣をしてもらい、意見交換などで良い案は出るが、行動する人がいない状態。どこかの良い事例を教えてください。
	若い人の働き口がないと住む人も増えないのでは。
	国、県、市町村の役割を見直すというのが新聞にも出ていた。柳井市も急激な人口減少が見込まれるなか、効率化をしていかないと立ち行かなくなるのではないか。
空き家対策	空き家解体の補助制度は、地区外に住んでいる人が対象なのか。
	危険な空き家への対応をスムーズにできないか。空地から伸びる雑草に対応できないか。空地の地番が分からないが、それもこちらで調べないといけないか。
農林業	農振農用地区域の除外をしないことが休耕田の再利用を邪魔していると思う。ソーラーパネルでも何でもやりたい人に活用してもらった方が良いのでは。
	森林環境譲与税の使途を教えてください。上手な使い方をしてほしい。
その他	市民と市長と気楽にトークの開催実績を教えてください。
	みどりが丘図書館は休館日が多いのではないかと。年末年始は受験に大切な時期なので、開館できないか。
	市がタイミーと連携協定を締結したとあるが、人手不足解消につながる取組として具体的に教えてください。
	上関町で計画されている中間貯蔵施設について、柳井市にとってのデメリットは分かるが、メリットは何か。
	来月配布される買物券を家族も楽しみにしている。他の自治体ではおこめ券などの取組もされているが、柳井市はどういった議論で買物券となったのか。
	ふれあいどころ437で食料品・日用品の販売ができないか。フジの移動販売がなくなったので、地区内で日用品を購入できるようにしてほしい。